

第 1 0 4 回安来市議会定例会

(令和 7 年・令和 8 年)

1 1 月開会会議議案

(予算関係) 説明資料

番号	議案名	ページ
議第 2 号	令和 7 年度安来市一般会計補正予算 (第 3 号)	
	(1) 移動通信用鉄塔修繕事業	1
	(2) 子育て応援給付金事業	2
	(3) 医療提供体制基本構想策定支援業務 (債務負担行為)	3

議第2号

令和7年度安来市一般会計補正予算（第3号） 説明資料

総務部DX推進課

○移動通信用鉄塔修繕事業（2款 総務費 1項 総務管理費）

1. 事業概要

令和5年度に携帯電話等エリア整備事業を活用して整備した携帯電話基地局（安来下卯月局）に自動車が発生し損傷したため、原状復旧するもの。

2. 事業費及び財源内訳

（1）事業費 6,500千円（需用費、委託料、備品購入費）

（2）財源内訳 6,500千円（対物賠償責任保険補償金）

※対物賠償責任保険補償金：相手方（原因者）負担によるもの

3. その他

（1）事故状況（事故発生日：令和7年9月12日（金曜）夕方）



（損傷状況の様子）



- ・建設地：伯太町西母里（卯月地区）
- ・携帯電話事業者：株式会社NTTドコモ

（2）携帯電話等エリア整備事業について

携帯電話事業者4社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）のいずれの電波も届かない場所（携帯電話不感地域）において、国の補助金を利用して市町村が移動通信用鉄塔を建設し、携帯電話事業者に対し貸し出し、携帯電話事業者がサービスを提供することで不感エリアを解消するもの。国が補助事業として採択する最低条件は携帯電話事業者の参画の予定があることとなっており、卯月地区において令和5年度事業として事業者（株式会社NTTドコモ）より申し入れがあったことから事業実施したもの。

議第 2 号

令和 7 年度安来市一般会計補正予算（第 3 号） 説明資料

健康福祉部子ども未来課

○子育て応援給付金事業（3 款 民生費 2 項 児童福祉費）

1. 事業概要

食料品やエネルギー価格等の物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計の負担を軽減するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、所得制限を設けることなく、電子マネー又はポイント形式による給付金を 18 歳以下の子どもがいる子育て世帯を対象に給付する、子育て応援給付金事業を実施するもの。

2. 事業費及び財源内訳

（1）事業費 60,700 千円

ア. 給付金事業費 52,800 千円（委託料）

（@10,000 円×4,800 人＋手数料（発券総額×10%））

イ. 事務費 7,900 千円（需用費、通信運搬費、委託料）

（2）財源内訳

〔	国庫支出金	21,390 千円
	（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）	
	一般財源	39,310 千円

3. 事業内容

子ども 1 人当たり 10,000 円分のデジタルギフト（電子マネーやポイント）を配布し、子育て世帯の家計負担の軽減を図る。

配布対象者	令和 7 年 12 月 31 日時点で安来市に住民登録のある 18 歳（平成 19 年 4 月 2 日生まれ以降）以下の者
配布ポイント	子ども 1 人当たり 10,000 円分
配布時期	令和 8 年 1 月末頃
事業の流れ	①対象世帯に 10,000 円分のギフトコード付きのギフト URL と ID 記載の通知文を送付 ②ギフト URL から交換したいデジタルギフトを選択し、電子マネー又はポイントに交換（令和 8 年 3 月末までに交換）

議第2号

令和7年度安来市一般会計補正予算（第3号） 説明資料

健康福祉部地域医療推進室

○医療提供体制基本構想策定支援業務（債務負担行為）

1. 事業概要

9月定例会議において公表した安来市の医療提供体制の基本方針の実現に向け、基本構想策定を進める上で必要となる業務委託について、令和8年度までを業務期間とし、債務負担を新規に設定して対応するもの。

2. 債務負担行為の期間、限度額及び財源内訳

（1）期間 令和8年度

（2）限度額及び財源内訳

- ・限度額 13,500千円
- ・財源内訳 一般財源 13,500千円

3. 全体事業費

- ・事業費 23,500千円
 - うち令和7年度 10,000千円
 - 令和8年度 13,500千円
- ・財源内訳 一般財源 23,500千円

4. 業務工程（見込み）

